

株主・投資家のみなさまへ

○第75期中間事業報告書

平成14年3月1日から平成14年8月31日まで



イズミカ株式会社

株主の皆さまへ

平成14年11月
取締役社長
林 紀男



株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、ここに当社第75期中間期（平成14年3月1日から平成14年8月31日まで）の決算ならびに事業の概況についてご報告申し上げます。

■ 営業の経過及び成果

景気回復の足取りは重く、雇用・所得環境の厳しさが続き、個人消費は低調でした。また、食品の偽装表示や残留農薬問題などにより、消費者の食品に対する不安が高まりました。一方、流通業においては、店舗・売場面積の過剰を解消する動きも出てきておりますが、競争環境は依然厳しい状況であります。当社は環境変化を先取りすべく、前期より着手した2カ年計画の「新生21計画」のもと、企業風土改革、営業改革、費用構造改革に取り組んでまいりました。

企業風土改革につきましては、現場主義を徹底し、オープンな雰囲気醸成とボトムアップパワーの活用に取り組んでまいりました。営業改革については、プライベートブランド商品「good-i（グッド・アイ）」の開発、「クラブカード」会員の拡充と本格的なFSP（フリークエント・ショッパーズ・プログラム）の開始、「ハートフル（人や環境にやさしい）」活動を推進いたしました。費用構造改革につきましては、費用コントロールの徹底と更なる費用削減に取り組ましました。

(1) 「ハートフル（人や環境にやさしい）」活動の推進

省資源、ごみ問題の取り組みの一環として、お買物袋ポイント制度（エコポイント）によるレジ袋使用削減運動を推進した結果、2002年8月時点のレジ袋削減率は10%に達しました。今後更にレジ袋使用削減運動を強化し、2003年2月時点には削減率15%、2005年2月時点には削減率30%の達成を目指します。また、地域社会とのパー

トナーシップ活動として、お客様と共に環境によい店舗のあり方を考える取り組みや、お客様にイズミヤの環境取り組みをご紹介しますエコ週間「ハートフルウィーク」を実施いたしました。更にプライベートブランド「good-i ハートフル」を中心とする環境配慮型商品を開発いたしました。

(2) プライベートブランド「good-i」の開発

前期に本格的に開発を開始したプライベートブランド「good-i」の取扱品目数は衣料品、食料品、住居関連品あわせて815品目（9月末現在）となりました。商品開発にあたっては、商品開発専任パイヤーを中心に、商品調達ルートの開発・商品原価の引下げなど、商品力強化のための活動を展開いたしました。また、お客様のご意見をもとに、商品改善をスピーディに行い、より良い商品の提供に努めてまいりました。

(3) 「クラブカード」（IDカード）の取組

イズミヤファンづくりを目指し、「クラブカード」取り組みの拡充を図った結果、本格的な導入展開の開始から約11ヵ月で、その会員数は158万人に達しました。「クラブカード」会員様との絆を強めるために、ポイントだけではなく、お買い上げに応じた特典をご用意しております。更に、お買い上げ情報の分析結果を品揃えやプロモーションに反映させ、お客様により高いレベルでご満足いただけるよう努めるなど、本格的なFSPを開始いたしました。また、ベビー・マタニティの当社専門ショップ「Baby-i（ベビー・アイ）」に「ベビー・アイクラブ」を設けました。「ベビー・アイクラブ」では、ご出産特典、お誕生日特典などの特典をご用意すると共に、赤ちゃん子育て相談などの様々な相談会やイベントをご案内し、お客様との絆を強める取り組みを推進いたしました。

(4) 店舗改装

大幅な売場構成の見直しなどによる営業力強化のための改装を泉佐野店（大阪府）、板橋店（東京都）、洛北店（京都府）、他6店舗で実施いたしました。一方、売場面積縮小による効率化を図るための改装を西岸和田店（大阪府）で実施いたしました。また、東大宮店（埼玉県）を閉店いたしました。

(5) 店舗運営力強化

店長自らが個店の地域特性を加味して活動計画を作成する個店重視経営を推進いたしました。更に、主婦の皆

様の代表とも言えるパートタイマーの部門研究会への参加を推進し、主婦の目で商品や売場づくりなどの改善を図りました。

以上により、当中間期の営業収益は「新生21計画」に基づく構造的赤字店舗の閉鎖もあり、1,606億10百万円（前年同期比1.0%減）となりましたが、差益率アップや費用コントロールにより、経常利益は19億14百万円となりました。また、中間純利益につきましては、厚生年金基金解散による退職給付引当金の取り崩しなどにより、特別利益111億93百万円を計上いたしました。店舗閉鎖の処理、平成17年度から導入が予定されている固定資産の減損会計の前倒し処理、および株式会社京都プラザに対する差入保証金の貸倒引当金など、特別損失104億84百万円を計上した結果、15億46百万円（前年同期比31億3百万円増）となりました。

当中間期の配当につきましては、誠に遺憾ではありますが、無配とさせていただきます。なお、当期末配当金につきましては、1株当たり普通配当10円を予定しております。

■ 会社が対処すべき課題

(1) 安全・安心への対応

「ええもん安い～良品廉価」を基本方針に、商品だけではなく、サービス、接客、設備を含むすべてにおいて「ええもん安い」を推進いたします。

社内コンプライアンス体制を整えると共に、トレーサビリティ確保に向けた取り組みを推進し、お客様との信頼関係の基礎がより強固なものとなるように努めます。

行動規範や「食品べからず集」（食品の安全・安心マニュアル）を策定し、全従業員にその共有と徹底を図ります。プライベートブランド商品「good-i」については、当社品質基準に基づく商品発売前・発売後の工場調査や商品検査を強化いたします。

(2) スリムでパワフルな企業グループの構築

現場第一線を重視し、少数精鋭で運営いたします。現場の一人ひとりが参加意識を持ち、主体的に考え、行動する企業風土改革に取り組むと共に、現場作業の生産性向上や仕事の質の向上を図る取り組みとして、働き方改革を推進いたします。

(3) 総合・小売サービス

地域のお客様になくってはならない商品・サービスを提

供してまいります。今後、小売業で培ったノウハウをサービス分野に拡大してまいります。また、お客様との関係を更に強化すべく、「クラブカード」プログラム（FSP）に取り組み、商品とサービス機能を融合させ、地域のお客様に貢献いたします。

■ 通期の見通し

(1) 重点政策

①新規出店・店舗改装

関西エリアでの店舗ネットの拡充を図ってまいります。すでに、営業を譲り受けた住之江店、中百舌鳥店（いずれも大阪府）を平成14年9月に開店いたしました。更に、居抜き出店として泉北店、美加の台店（いずれも大阪府）の開店を予定しております。なお、SM（スーパーマーケット）業態の「デイリーカナート」の新規出店は高殿店（大阪府）の1店舗を予定しております。構造的赤字店舗の閉鎖については、引続きこれを推進いたします。

②物流改革

平成14年9月に常温物流機能の改革のため、新物流センター（大阪府）を移動させました。新物流センターは、TC（通過型センター）機能だけではなく、DC（在庫型センター）機能、PC（流通加工）機能を揃えております。また、物流EDI（電子データ交換）導入による伝票レス、検数レスの実現や売場別配送により、取引先から店の売場までの作業改善やローコスト化を図り、トータル物流コストの削減を図ってまいります。なお、旧八尾センターは閉鎖いたしました。

(2) 業績見通し

通期見通しにつきましては、営業収益は3,248億円（前年同期比0.5%減）となりますが、来期以降の増収に向け、今下期は店舗ネットの拡充を図ってまいります。なお、営業利益は42億円（前年同期比381.1%増）、経常利益は33億円（前年同期比596.0%増）、当期純利益は18億円（前年同期比44億88百万円増）を見込んでおります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

グッド・アイ



アイされて 1周年

—— デビューから1周年で
—— グッドアイのラインナップは815品目に。

—— これからも、アイあるこだわりを
—— お届けいたします。

good-i
グッド・アイ

お客様の声から生まれたイズミヤの開発商品

〈グッド・アイ〉

くらしのなかにもっともっとアイを。

good-i
タワシ

good-i
タレシ

good-i
ハーフ

Izumiy



くらしのなかにもっともっとアイを。

〈グッド・アイ〉

「i」|| アイデアに富んだ商品

「i」|| 愛のある商品

「i」|| お客様の視点 (eye) から生まれた商品



クオリティ

高品質にこだわったgood-iクオリティ。

good-iが売り場に並ぶまでには厳しい関門がいくつもあります。まず、バイヤーが国内はもとより世界の産地やメーカーを訪れ、五感を研ぎ澄ませて企画した商品を所属部門の検討会議にはかります。そこでふるい落とされ、日の目を見ることのない候補は数知れず。こうして厳選されたgood-i候補は、ようやく営業担当の役員・部長やエコロジー担当、お客様からのご意見承り担当などで構成されるgood-i選定会議（ええもん安い会議）に持ち込まれ、それら一品一品について、環境面や安全面など総合的な視点からの厳しい審査が行われます。その難関をクリアした、特に品質にこだわった開発商品がgood-iクオリティです。



ハートフル

人と環境にやさしいgood-iハートフル。

イズミヤは人にやさしい店づくりや環境問題など、「ハートフル（人と環境にやさしい）」活動に積極的に取り組んでいます。そのような取り組みの中で生まれた商品がgood-iハートフルです。たとえば鶏肉。関西は鶏肉の消費率が全国平均よりも高いこともあり、「ええもん安い」の鶏肉を提供したいと考えました。安全・安心、健康、品質、味、鮮度、それらすべてを追求するために全国を駆け回り、答えをみつけたのが大分県でした。その後、good-iグレードへのブラッシュアップを繰り返し「豊後無薬どり」が誕生しました。産地に出向き、産地と対話し、土を舐め、豚舎や鶏舎の中に入り、これからもgood-iハートフルを開発してまいります。



チャレンジ

価値ある低価格を追求したgood-iチャレンジ。

good-iチャレンジのポリシーは品質を確保した「ええもん」を低価格で提供することです。そのためにバイヤーは四季を通じて国内外の産地を飛び回って旬のおいしさを探し続けると共に、新素材や高い技術力を保有するお取引先様の情報を自らの目で確認しています。「自由闊達にやれ」「現地に飛べ」が合言葉です。さらに物流の効率化による鮮度アップとコストダウンのダブルメリットの獲得。「これならきっとご満足いただける」。お客様の笑顔を思い浮かべながら開発されたgood-iチャレンジはイズミヤが絶対の自信をもっておすすめする「ええもん安い」の代表選手です。



□イズミヤクラブカード

FSPを全店に導入

地域のお客様の声を店づくりに活かすために、FSP（フリークエント・ショッパーズ・プログラム）を導入しています。クラブカード会員のお客様のお買い上げ情報を収集・分析して、品揃えにすばやく反映させることに取り組み、地域のお客様により高いレベルでご満足いただける店づくりに役立っています。



家族で使える、便利な親子カード

暮らしの夢がふくらむ、クラブカード

◎お客様のお買い上げ金額に応じたさまざまな特典をプレゼント

お買い上げ毎につき通常のポイントに加え、お客様のお買い上げ金額の合計に応じたさまざまな特典をご用意いたしております。

◎会員様ご優待セール、各種イベントなどへのご参加資格をプレゼント

◎毎日のお買物でポイントをプレゼント

当店でのお買い上げ200円毎に1ポイントがつきます。

500ポイントで500円分のお買物券を進呈いたします。

現金でも、クレジットカード・デビットカードでもお支払い方法に関係なくポイントがつきます。

イズミヤカードでお支払いの場合は、双方にポイントがつきます。

環境への取り組み

環境方針より抜粋

- ①グリーン購入の推進：時代を先取りするエコロジーグッズの仕入れと開発を推進します。
グリーン調達：環境と人に配慮した資材・用度品およびサービスの調達を推進します。
- ②省エネ・省資源へ取り組みます。
- ③エコ店舗創り推進：環境と人に配慮した店舗づくりを推進します。
エコ物流推進：環境と人に配慮した物流システムを推進します。
- ④自治体、地域市民、学識経験者、事業者によるパートナーシップ活動に積極的に参加し、地域の環境文化の向上に貢献します。

ISO14001 認証取得

ISOをはじめとする世界的なソーシャル・ムーブメントに呼応して、イズミヤでは環境マネジメントシステムの構築と推進に取り組み、昨年本社および関東本部でISO14001認証を取得しました。この認証取得を機に気持ちも新たに、環境配慮型企業として地域のお客様と手を取りあって、より一層地域との共生・地球との共生を考え、行動してまいります。



リサイクル活動

循環型社会構築を目指して、牛乳パック、トレーなどの回収リサイクルに取り組んでいます。



生ゴミ資源化の推進

店舗から出る生ゴミを、生ゴミ処理機で肥料化しています。その肥料を提携農家にお届けし、主に葉菜を育成していただき、収穫された野菜は再び店頭にてご提供できる仕組みづくりをしています。

環境パートナーシップ活動

地域のお客様と共に環境問題を考えるイベントとして、洛北店において「ごみを減らそう！」をテーマに「イズミヤ環境パートナーシップ活動2002」を実施いたしました。



今後も、店舗とお客様が環境について直接話し合える機会を積極的に設けて、より地域に密着した環境にやさしい店舗づくりに取り組んでまいります。

「ハートフル(人や環境にやさしい)」活動の推進

省資源、ごみ問題の取り組みの一環として、お買物袋ポイント制度(エコポイント)によるレジ袋使用削減運動を推進しています。



NEW OPEN !

デイリーカナート 住之江店・中百舌鳥店

普段の食生活に満足していただける必需品の値頃販売に努めております。旬や健康を重視した生鮮素材の充実を図り、地域に密着した品揃えと、季節感、鮮度感あふれる売り場づくりに取り組み、地域の皆様の視点に立った施設づくりや運営を推進いたします。

また、デイリーカナートクラブ会員様へのご優待等を実施し、便利で親しみのある店づくりを目指してまいります。



デイリーカナート住之江店
平成14年9月18日(水)オープン!

所在地	〒559-0024 大阪市住之江区新北島3丁目3番19号 (住之江ショッピングプラザ1階)
電話	06-6682-3910
店舗面積	872㎡
駐車台数	70台
営業時間	午前10時～午後8時
休業日数	年間4日



デイリーカナート中百舌鳥店
平成14年9月20日(金)オープン!

所在地	〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町5丁目805-2
電話	072-252-2011
店舗面積	1,188㎡
駐車台数	48台
営業時間	午前10時～午後8時
休業日数	年間2日

新常温一括物流センター「大阪センター」開設



名称	イズミヤ大阪センター
運営会社	伊藤忠食品株式会社
所在地	〒557-0062 大阪市西成区津守3丁目8番113号
業務内容	衣料・住関・加工食品(菓子、酒、ギフト含む)・資材等TC業務 衣料総量納品センター小分け加工食品(ギフト除く)・一部資材DC業務 衣料・住関PC/DC業務 取扱い商品等の返品・回収・振替業務
敷地面積	6,820坪

9月1日より新常温一括物流センター『イズミヤ大阪センター』が稼動いたしました。

一括物流システムの構築により、トータルオペレーションコストの更なる低減を図ると共に、店内作業の軽減と標準化、販売機会ロスの削減を進め、「ええもん安い」商品を継続して安定供給できる「お客様にご満足いただける売場」づくりを支援します。

RENEWAL OPEN !

西岸和田店リニューアル 平成14年3月20日(水)オープン!



所在地	〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町2番1号
電話	0724-39-8170
店舗面積	18,423㎡
駐車台数	1,800台
営業時間	午前10時～午後8時 (土曜9時まで)
休業日数	年間2日

ショッピングセンターの名称を岸和田カンカンベイサイドモールEASTと改め改装オープンいたしました。「普段の生活にちょっとした新しさを発見できる店に」をコンセプトに、専門店ゾーンを拡大し、マックハウス(カジュアルファッション)など専門店を新規に16店舗導入しました。また、ゾーニングの見直しを図り、子供ベビー売場をプレイランド、おもちゃ売場と集約し、一体感を創出しています。

洛北店リニューアル 平成14年4月26日(金)オープン!



所在地	〒606-8103 京都市左京区高野西開町36番地
電話	075-707-0700
店舗面積	13,980㎡
駐車台数	634台
営業時間	午前10時～午後9時
休業日数	なし

新たに、「ボディキュート」(婦人ランファン)、2階に「スーツスタイル」(紳士スーツ)などの専門店や、キッチン&ダイニング用品の当社専門ショップ「リビング・ミックス」を導入しました。また、1階インフォメーションカウンターで、チケットぴあ・totoくじの販売を行っております。

高野店リニューアル 平成14年5月31日(金)オープン!



所在地	〒606-8107 京都市左京区高野東開町16番地
電話	075-721-2101
店舗面積	9,894㎡
駐車台数	なし
営業時間	午前10時～午後8時
休業日数	年間6日

今回の改装では、お客様の利便性を第一に考え、お客様用エレベータを設置し、お客様入り口(西側)の自動ドア化を行っています。売場においては、お客様からの御要望にお応えすべく婦人服の大きいサイズやミセスコーナーを拡大・充実させています。また、家電売場ではCD・DVDソフトの取り扱いを始め、健康・美容商品の品揃えを充実させています。

中間貸借対照表（連結）

(平成14年8月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	53,505	流動負債	121,195
現金及び預金	10,502	支払手形及び買掛金	29,578
受取手形及び売掛金	10,368	短期借入金	67,493
たな卸資産	25,547	コマーシャルペーパー	5,000
前払費用	1,525	一年内償還転換社債	4,573
短期貸付金	2,828	未払法人税等	1,546
繰延税金資産	545	未払消費税等	655
その他	2,588	未払費用	6,002
貸倒引当金	△ 400	賞与引当金	1,193
固定資産	213,017	その他	5,151
有形固定資産	136,036	固定負債	41,333
建物及び構築物	63,974	長期借入金	28,370
機械装置及び運搬具	639	退職給付引当金	1,569
器具及び備品	5,713	役員退職慰労引当金	802
土地	65,458	預り保証金	7,712
建設仮勘定	249	長期未払金	2,877
無形固定資産	8,926	負債合計	162,529
借地権	6,498	少数株主持分	342
その他	2,427	資本の部	
投資その他の資産	68,055	資本金	39,066
投資有価証券	6,376	資本剰余金	47,081
繰延税金資産	8,026	利益剰余金	18,380
敷金及び保証金	50,003	その他有価証券評価差額金	83
その他	6,778	自己株式	△ 960
貸倒引当金	△3,129	資本合計	103,651
資産合計	266,523	負債・少数株主持分及び資本合計	266,523

中間損益計算書（連結）

(平成14年3月1日から平成14年8月31日まで)

(単位：百万円)

売上高	167,366
売上原価	118,668
売上総利益	48,698
営業収入	4,128
営業総利益	52,826
販売費及び一般管理費	49,940
営業利益	2,886
営業外収益	527
営業外費用	987
経常利益	2,426
特別利益	15,138
特別損失	10,718
税金等調整前中間純利益	6,845
法人税、住民税及び事業税	1,242
法人税等調整額	1,805
少数株主損益	37
中間純利益	3,760

中間剰余金計算書（連結）

(平成14年3月1日から平成14年8月31日まで)

(単位：百万円)

資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	47,081
資本剰余金増加高	—
資本剰余金減少高	—
資本剰余金中間期末残高	47,081
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	14,637
利益剰余金増加高	3,760
利益剰余金減少高	16
利益剰余金中間期末残高	18,380

中間貸借対照表 (単体)

(平成14年8月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	40,388	流動負債	106,878
現金及び預金	6,714	支払手形	5,909
受取手形	2	買掛金	19,037
売掛金	8,687	短期借入金	59,622
たな卸資産	21,000	コマーシャルペーパー	5,000
短期貸付金	485	一年内償還転換社債	4,573
繰延税金資産	351	未払法人税等	1,303
その他	3,365	賞与引当金	813
貸倒引当金	△ 219	設備関係等支払手形	2,240
固定資産	204,854	その他	8,379
有形固定資産	128,391	固定負債	38,421
建物	58,914	長期借入金	26,355
土地	63,438	退職給付引当金	805
その他	6,037	役員退職慰労引当金	722
無形固定資産	8,833	債務保証損失引当金	91
投資その他の資産	67,630	預り保証金	7,569
投資有価証券	7,069	長期未払金	2,877
繰延税金資産	8,017	負債合計	145,300
敷金及び保証金	49,156	資本の部	
その他	7,149	資本金	39,066
貸倒引当金	△3,762	資本剰余金	47,069
		利益剰余金	14,685
		その他有価証券評価差額金	81
		自己株式	△ 958
		資本合計	99,943
資産合計	245,243	負債及び資本合計	245,243

中間損益計算書 (単体)

(平成14年3月1日から平成14年8月31日まで)

(単位：百万円)

売上高	156,502
売上原価	117,932
売上総利益	38,569
営業収入	4,108
営業総利益	42,677
販売費及び一般管理費	40,471
営業利益	2,206
営業外収益	614
営業外費用	906
経常利益	1,914
特別利益	11,193
特別損失	10,484
税引前中間純利益	2,622
法人税、住民税及び事業税	1,076
中間純利益	1,546
前期繰越利益	3,726
中間未処分利益	5,272

株式事項 (平成14年8月31日現在)

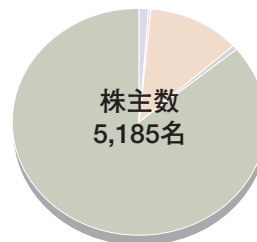
会社が発行する株式の総数	332,615,000株
発行済株式の総数	87,291,365株
株主数	5,185名

大株主

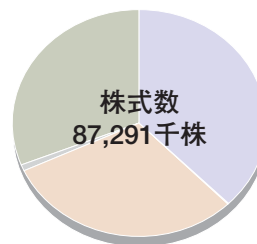
株主名	株式数	持株比率
有限会社サン・インベストメント	14,019千株	16.06%
イズミヤ共和会	3,935千株	4.50%
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	3,894千株	4.46%
株式会社三井住友銀行	3,303千株	3.78%
株式会社あおぞら銀行	3,261千株	3.73%
和田 繁	2,941千株	3.37%
中央三井信託銀行株式会社	2,330千株	2.67%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,772千株	2.02%
イズミヤ自社株投資会	1,737千株	1.99%
農林中央金庫	1,717千株	1.96%

(注) 上記大株主には、イズミヤ自己株式 (2,059千株、2.36%) を含めておりません。

株式所有者別分布状況

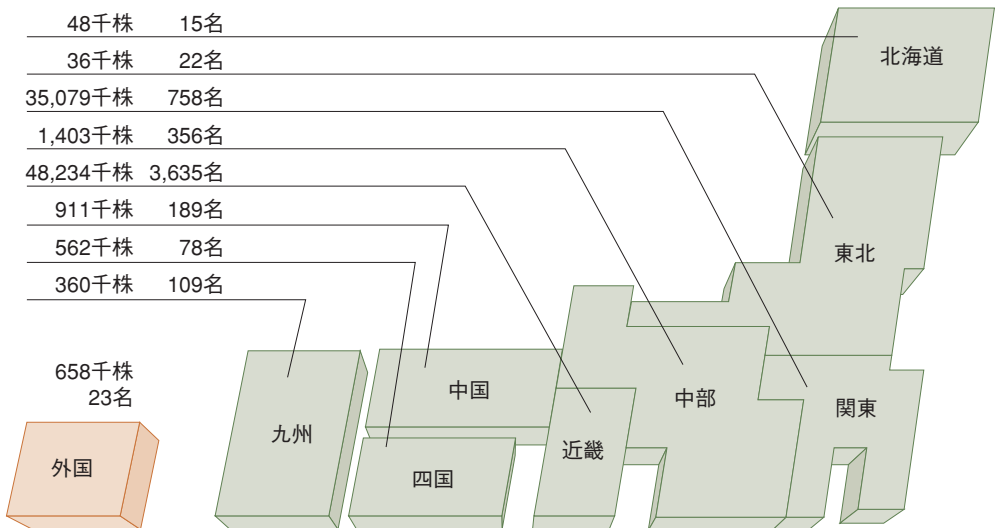


■ 金融機関 61名 1.18%	■ 証券会社 16名 0.31%	■ その他国内法人 612名 11.80%
■ 外国人 33名 0.64%	■ 個人・その他 4,463名 86.07%	



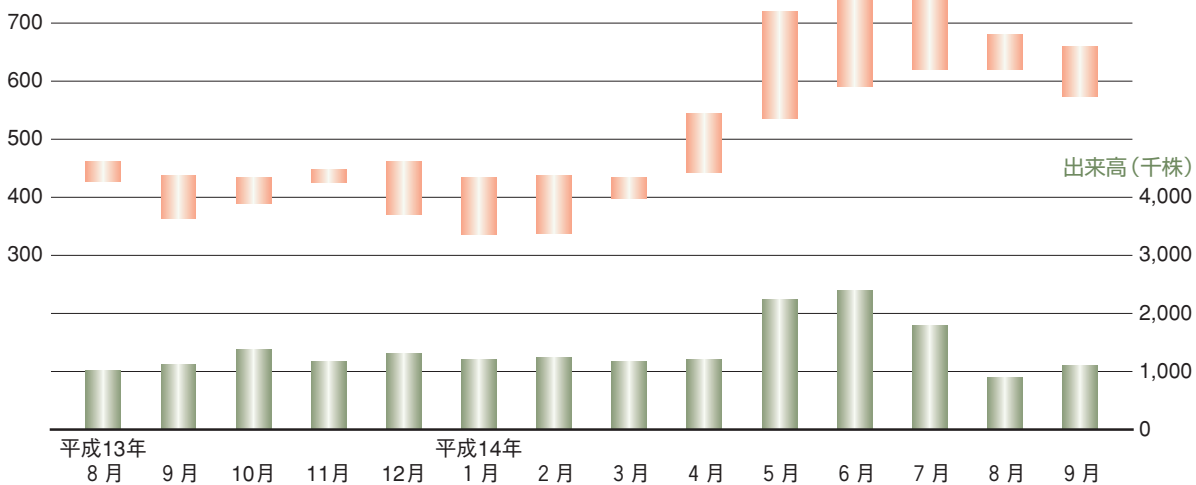
■ 金融機関 32,735千株 37.50%	■ 証券会社 101千株 0.12%	■ その他国内法人 26,543千株 30.40%
■ 外国人 863千株 0.99%	■ 個人・その他 27,049千株 30.99%	

地域別分布状況



株価チャート

株価 (円)



店舗一覧 (平成14年9月30日現在)

地区名	都道府県名	店 舗 名			
近畿	大阪府	花園店	原山台店	平田店	箕面東店
		※中百舌鳥店	淡路店	桑津店	南田辺店
		山田西店	我孫子店	※住之江店	岸和田店
		北助松店	上野芝店	庄内店	百舌鳥店
		南住吉店	住道店	若江岩田店	放出東店
		茨木店	心齋橋店	松原店	平野店
		天下茶屋店	枚方店	西田辺店	国分町店
		くずは店	河内長野店	門真店	和泉府中店
		上新庄店	今福店	古市店	千里丘店
		大東店	東霞屋川店	泉佐野店	寝屋川店
	上新田店	光風台店	阪南店	玉手店	
	西岸和田店	新家店	和泉中央店	阪和堺店	
	京都府	伏見店	大久保店	長岡店	高野店
		六地藏店	京都店	白梅町店	洛北店
	兵庫県	尼崎店	浜田町店	小林店	多田店
		昆陽店	西神戸店	南淡店	御影店
	奈良県	王寺店	学園前店	新大宮店	橿原神宮前店
	和歌山	和歌山店			
	関東	千葉県	八千代店	検見川浜店	
		茨城県	牛久店	江戸崎店	
栃木県		小山店			
東京都		板橋店			
中部	岐阜県	各務原店	真正店		
中国	岡山県	津高店			
九州	宮崎県	宮崎店			

(注) ※印の店舗は、期間中の新設店舗であります。
東大宮店（関東・埼玉県）は平成14年3月に閉店いたしました。

従業員の状況

区分	従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男性	1,481名	30名減	38.97歳	15.93年
女性	1,095名	106名減	28.50歳	8.70年
合計	2,576名	136名減	34.52歳	12.86年

(注) 1. 上記従業員のほかに、パートタイマー5,544名（1日8時間換算による期中平均人員）を雇用しております。
2. 従業員数には、子会社等への出向者90名を含んでおりません。

役員

取締役会長	和田 繁
※取締役社長	林 紀男
常務取締役	河野 裕史
常務取締役	砂本 貞夫
取締役	松本 明
取締役	荒木 文生
取締役	和田 実
取締役	加藤 敬一
取締役	吉田 哲郎
取締役	佐藤 斌
取締役	太田 彰
監査役（常勤）	小林 守
監査役（常勤）	司馬田 冽二郎
監査役	和田 慎三

(注) 1. ※印は、代表取締役であります。
2. 監査役（常勤）小林 守氏及び監査役和田慎三氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

■ 会社の概要

社名	イズミヤ株式会社
本部所在地	大阪市西成区花園南1丁目4番4号
事業内容	衣料品、食料品、住居関連品の 総合小売業のチェーンストア
創業	大正10年5月
設立	昭和27年4月
資本金	390億66百万円 (平成14年8月末現在)
株式市場	東京証券取引所、大阪証券取引所、 名古屋証券取引所
店舗数	79店舗
ホームページ	http://www.izumiya.co.jp/

～お知らせ～

『株主優待制度』を新設!!

平成15年2月28日の株主確定日より、下記の内容にて『株主優待制度』を新設いたします。

■ 優待内容

所有株式数1,000株以上の株主様に対し、一律3,000円のイズミヤ商品券(500円券6枚)、または自社取扱商品を、半年毎に1回お贈りいたします。

■ 贈呈確定日

毎年8月31日および2月末日(年2回)

株 主 メ モ

1. 決算期 毎年2月末日
2. 株主総会 定時：毎年5月
臨時：必要の都度随時
3. 利益配当金受領
株主確定日 毎年2月末日
4. 中間配当金受領
株主確定日 毎年8月31日
5. 名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪市中央区北浜二丁目2番21号
中央三井信託銀行株式会社
大阪支店証券代行部
電話 大阪(06)6202-7361(代表)
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社
本店および全国各支店
日本証券代行株式会社
本店および全国各支店
6. 公告掲載新聞 日本経済新聞
7. 上場証券取引所 株式会社 東京証券取引所
市場第1部
株式会社 大阪証券取引所
市場第1部
株式会社 名古屋証券取引所
市場第1部



イズミヤ本社及び関東本部において
ISO 14001
（環境管理システム）
認証を取得いたしました。



(注) 本中間事業報告書中の記載金額及び株式数は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。